

令和2年度第1回胎内市地域包括支援センター運営協議会に関するご意見等

議題1 「令和元年度事業報告及び令和2年度事業計画について」

- ・「通いの場」増加…「やろう！」という地域・住民が増えているのは積極的、継続的な働きかけの成果。
- ・「健伸館」の利用者増加…築地地区の利用者が増加しているのかな。ほぼ毎日開設は強味。
- ・黒川地区に「うさぎの会」…実施地区が増えることは住民にとって有難い。特に地元住民にとっては。
- ・相談件数は増加傾向…事業が浸透している表れ。本人からの相談件数の増加傾向にある。医療相談の急増には、やまぼうしの復帰への支援等が含まれているなら、心配な増ではないのかな？
- ・コロナ禍で大変厳しい状況の中、ありがとうございます。前年対比要介護認定率が減少しているのも、皆様の活動あつてのことと思います。引き続き“新しい生活様式”に沿った活動が続くと思いますがよろしく願いいたします。
- ・質問です。地域リハビリテーション活動支援事業では、地域包括支援センターとの連携により、予防ケアプランへの助言やケアマネージャー、介護職等専門職への同行などによる技術的支援はありますか？
⇒地域リハビリテーション活動支援事業は、現在、事業を委託している通所介護事業所の理学療法士2名が、市の作業療法士や保健師等と連携しながら実施しています。同行訪問も可能ですが、当事業で実施すべき内容かの精査や理学療法士の日程を調整する必要があります。まずは、胎内市地域包括支援センターみらいにご相談ください。
- ・今年は新型コロナウイルスの為、サロン、体育館等々が閉鎖され、仕方がない事ではありましたが高齢者の体力、思考力が短期間で急激に衰えたのが見受けられます。早く普通の生活に戻られます様に。
- ・権利擁護事業についてですが、権利侵害に気付くこと、そして、権利侵害を防止するためには、丁寧に事例検討し多角的な観点から、課題を解きほぐして下さることを願います。
- ・高齢化率が増加しているが要介護認定率が減少している。介護予防に力を入れていることがわかる。令和2年度も介護予防の事業計画になっており健康年齢が伸びるのである。
- ・年間を通して様々な分野で地域住民のために色々な活動をしていただいています。どれも重要な活動ですね。
- ・健伸館の利用者が大きく増えてよかったです。
- ・通いの場に関して、毎年7万円ずつ補助して活動の場が増えている中で続けられるのか、不公平にならないか心配。
⇒補助金額は一律7万円ではなく、7万円を限度として必要額を交付し、申請時には「事業実施計画書」及び「収支予算書」を提出していただき、補助の必要性を審査しています。また、交付先は自治会に限らず、仲間が集う任意団体も対象にしています。活動したくてもできない環境にある方々にも配慮しつつ、公平性が保てるように努めています。
通いの場に対する補助金交付については、更に活動の場を増えるよう、今後も継続していきたいと考えてます。
- ・高齢化が進んできている中で、ずっと働きたいという人も多く、一緒に活動できる人が増えない。地区での活動も最初はいいけど…次の世代につなげていくためにも支援センターの皆さんの力は必要かと思えます。
- ・介護予防・生活支援拠点施設「健伸館」が、他の地域にもあると良いです。地域で活躍できる場があれば、年齢に関係なく支援の輪が広がると思います。コロナ禍で活動が十分できないことが想定されます。高齢者の活動の低下、意欲の低下が心配されます。どのような支援ができるか知恵を集めて事業を展開していかなければならないと

思います。

- ・資料から介護予防の成果が見られます。引き継ぎ、計画を実行していただければと思います。
- ・立派な事業報告だと思えます。成果も上がっていると思えます。全般的にですが選択と集中です。虻蜂取らずにならないようにして下さい。
- ・介護予防支援事業についての疑問です。4ヶ所でプランを作成していますが、中条愛広苑が改善率が高い理由があったら教えてほしいです。たまたま対象者の特性によるのか？中条愛広苑の取組が良いのか？理由がわかったら他の方への波及に役立ててほしいと思えます。

⇒維持・改善・悪化率は、要介護度の変化を指標として評価しています。いずれの地域包括支援センターも7～8割の維持改善率となっていますが、特に中条愛広苑の改善率が高かった理由について、同センターでは、以下のように分析しています。

- ① 自立支援を主眼に置いた評価と目標設定を徹底している。
- ② 同法人の専門職（看護師、リハビリ職等）からの助言が得られる。
- ③ 報連相を徹底し、職員一人で抱えず、チームで検討している。

他の地域包括支援センターにおいても、自立支援・重度化予防の視点を大切にケアマネジメントを実施し、介護サービスの適正利用に努めてまいります。

- ・事業を通して住民、専門職の介護予防への意識が高くなっているのを感じる。健伸館のような取組が他地域にも広がってほしいと思う
- ・人口比率からの高齢化の進行が進む中、様々な取組で結果を出されており今後ともよろしくお願い致します。
- ・介護支援専門員連絡協議会の意見交換会で通所C（すこやか教室）の提出書類についてプラン点検用と申請用で同じものを係毎に提出するのは煩雑なので、簡素化を検討してほしい。

⇒それぞれ使用目的が異なり、必要なものです。お手数ですが、これまで通り作成・提出をお願いします。

議題2 「地域包括支援センター運営状況評価の結果について」

- ・市として全項目で全国平均を上回っている。又、それを目指して改善を図ってきたことはすばらしいと思う。
- ・評価方法は「評価項目に○×で回答」と聞いた気がするが、市町村とセンターの全国平均のグラフの形状が異なるのは、評価内容やその数等が異なるから？
⇒市町村とセンターのグラフの異なる形状は、両者の取組内容や意識のギャップを表しています。ギャップを解消する過程がセンターの機能強化につながるため、あえて市町村から地域包括支援センターへの指示は行っていません。
- ・センター単位のケア会議開催が少ない理由を探ると地域課題の把握につながるのでは…。会議開催の必要性、時間確保など。
- ・全国平均を上回っている状況で、引き続きお願いいたします。
- ・高齢者の一人暮らしも増加し、権利擁護は大事だと思っています。総合相談支援と権利擁護は、100%の支援センターが多く高齢者にとっては安心して暮らせるのでは。他の市の福祉の取組を聞いて胎内市の地域包括支援センターは誇れる気分になります。
- ・「胎内市の取組状況は、全国平均を上回っている」とのこと。グラフでもすべての項目で100%に近くなっています。詳しい内容は分かりませんので、このまま、様々な取組を進めていってほしいです。
- ・以前から胎内市内の地域包括支援センターは、熱心に先進的に取り組んでいると感じていましたが、グラフにより全国平均よりも上回っていることが分かりました。今後はセンターの特徴を生かしつつ課題に対処していければと思います。
- ・良い評価だと思えます。これをより上げるようにして下さい。
- ・地域ケア会議の取組不足を感じる。

- ・資料の情報量がたいへん盛りだくさんです。読み込むのに労力が必要でした。活動内容は良いと思います。
- ・現在の社会的状況から大変だと思いますが（研修会、勉強会等の開催についても）出来るだけ支援に取り組んでいただきたいと思います。
- ・今後の取組の中で、地域ケア会議での検討事例の分析を行い本来地域ケア会議の目的である地域課題への取組は進めてほしいと思います。

議題3 「新発田地域在宅医療・介護連携推進事業計画について」

- ・前年度の事業実施を評価し、更新して進めている。朱書きで分かりやすい。事業に携わっている方々それぞれが役割を明確にして、縦、横に連携して進めることが見える表になっている。
- ・一般市民として、この事業にかかわるのは、住民向け講座に参加し、指標マップを自分事としてとらえることかなと思いつつ読んでいた。
- ・病院機能の部分の話にもなるかもしれませんが、県立坂町病院も含まれるといいと思いますが、圏域が違うので難しいでしょうか。
⇒坂町病院との連携も重要です。これまでも実施している入退院支援、坂町病院主催の研修会への参加、情報連携、地域医療構想等について、今後も引き続き取り組んでまいります。
- ・「医療と介護の連携に関する課題」
（医療職、介護職がコミュニケーション取りにくい相手理由）
- ・「地域での看取りを進めるにあたっての課題」
（終末期の軌道に合わせた支援を専門職が行える、また地域の人々と一緒に考える場がある。）
（平時・日常における先を見越したかかわりの実践と地域住民への普及ACP）
- ・ツールの一つとして、認知症ケアパスも活用を望みます。
- ・地域住民の普及啓発で看取り、救急医療についての出前講座とACP研修会も実施してもらい、一人一人が考える時を作ってほしい。
- ・胎内市の医院では往診に来て頂ける医院が多く、医者不足にもかかわらず高齢になっても安心して医療を受けられるのかなあ。看取りも胎内市の医院ではやっていただけると聞いています。住み慣れた地域で暮らすには医療が大事です。
- ・もっと「ときネット」の活用が広がれば良いと思います。
- ・課題の把握がすすんだためか、取組がより具体的になったと感じます。引き続き、胎内市においても、これからの地域状況を見据えながら連携を深めて欲しいと思います。
- ・胎内モデルの推進にあたり協力していきます。
- ・昨年度検討した在宅医療・介護連携施策・指標マップの全体像について、胎内市民の方へどのように周知される予定でしょうか（市民のためのものと思うので）
⇒今年度は、地域への出前講座や住民向け看取り講演会において周知する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症予防のため、現在のところ実施できておりません。コロナ禍での周知方法について検討中です。
- ・いい取組をされているので、今後も活用させて頂ければと思います。
- ・ツリー的な資料が苦手で、わかりにくかったです。気合を入れて読みました。
- ・当初の計画通りとはなかなか困難と思われます。看取りという問題は在宅医療と関連するものと思われますので、より慎重な対応が必要と思われます。
- ・胎内市において「ときネット」の普及が進んでいない。

議題4 「令和2年度認知症施策について」

- ・チームオレンジの取組で当事者の思い、ご家族の思いをふまえた中で、ベストな活動ができたと思います。
- ・地域の人達は認知が入って来た様だからと、本人に感じさせない行動を取って欲しい。本人は敏感に感じ取り、家から出るのがつらいと思い始めています。サロンのリーダーや、近くの人達は再度、サポーター養成講座を受けて欲しい。
- ・市では、様々な認知症対策をしています。その多くは「家族が認知症になったら」「認知症の人への対応」などです。認知症になった人への対応も大切ですが、家族関係も希薄になる中、介護する人の負担が少しでも軽くなるよう、時には「頑張らなくていいから…」と声をかけることも必要なのではないのでしょうか。
- ・新規施策である胎内市チームオレンジの取組が充実することにより、認知症と共生する社会に向けて当事者がより主体的に自分の人生を送ることにつながっていくと良いと思います。それぞれ継続していくことで、この取組自体も市民にとって身近なものになって欲しいと思います。

「その他、地域包括支援センターの運営に関する事等についてのご意見」

- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、実行可能か判断が難しい取組もあると思います。現状において、感染予防が優先だと思いますが、情報収集と創意工夫により、出来る範囲で施策を講じていければと思います。
- ・成年後見機能強化型地域包括支援センターにみらい、中条愛広苑とあります。中条愛広苑としては、利用促進にあたる中核機関を担うことは理解しています。利用促進に向けた取組、中核機関たる活動の骨組など舵取りについて、胎内市(行政)により期待願います。よろしく願いいたします。
- ・いつもは、会議に出席するだけで、こうして意見を求められることはなかったので、まともな回答になっていないことと申し訳なく思います。
年をとって外に出ることが少なくなった人を外の世界に連れ出すのは大変なこと。地域包括の皆さんは、閉じこもる前に、または、外に出る機会をなくしてしまった人たちへ救援の手を様々な形でさしのべてくれていると思います。施設に入所している主人の母、デイサービスを利用している私の母、健伸館にやってくるミニデイの皆さんみんな地域包括の皆さんが継いでくれたご縁です。利用者はみんな元気をもらいました。築地福祉会のように自分たちで運営している元気なお年寄りもいます。時々、ちょっとお楽しみイベントや保健師さんの話やゲームで盛り上がっています。これからも地域のために、色々な活動をしていただける事を期待しています。私もおばあさん達に刺激を受けながら、色々な活動に参加し仲間づくりを楽しみたいと思います。
- ・地域包括支援センターにそれぞれ役割があることを知り、その部門は、専門的になるので良かった。
みらい 基幹型センター 愛広苑 成年後見機能強化型センター
やまぼうし 認知症支援強化型センター
- ・各施設のデイ、ショートスタッフの対応に感謝しています。
- ・今回は、コロナの為に会議が開かれず他の人達の質問や意見を聞くことが出来ず残念でした。
- ・8050問題が近所でも見え隠れする中で、心の問題が大きいので、少しづつ挨拶や気長に接し見守る事だろうか。
- ・コロナ対策の大変な中、ありがとうございます。
- ・詳細なデータをセンターは把握しているので、これをさらに活用してはいかがでしょうか。例えば、各事業所、通いの場から要介護者の住まいまでの距離とか、各イベント参加者がどこから来ているかなどをグーグルマップなどでマッピングすると何か見えてくるものがあるかも？と考えています。今、流行のビッグデータを活用してみるのはいかがでしょうか。
ひとつ提案があります。委員間の情報共有ツールとして「Slack」を使用してみるの

はいかがでしょうか。パソコン、スマホを使っていない人にはなかなか参加が難しいと思いますが、コアメンバーだけでも使用してみるとコミュニケーションのスピード感と情報量が up する (?) と思いました。

- 委員として参加させてもらうようになって何年にもなりますが、すぐ忘れてしまって同様の質問をしてご迷惑をおかけしているようで、申し訳なく思うことがあります。しかし、会議に参加しているうちに、胎内市の様々な取組の体系が分かるようになるとともに、市が高齢化問題を重視し、力を入れていることを肌で感じることもできました。委員になって良かったことです。委員になる前からも、いくつかの事業に参加したり、お手伝いをしたりしてきました。その折に感じたことは、各々の取組担当者が実にはつらつとやっておられるということです。継続事業では参加個々人の様子を把握し、適切な声かけ、対応をしておられるのには驚きをおぼえます。参加した方は嬉しさと安心感を抱くことと思います。皆さん、頑張っておられます。その姿に接し私は心地よい時間をもらっています。

会議での他の委員の発言は、自分の気づかない事柄、知らない内容で「なるほど」とか「そうなのか」と、参考になるものばかりです。今回は、ウイルス禍でその機会が得られなかったのは致し方無いとはいえ、少々残念でした。

ウイルス感染対策の中での業務、ご苦労様です。梅雨が明け、胎内市の暑い夏がやってきました。皆様どうぞご自愛ください。駄文にお付き合いいただき、ありがとうございました。